

小中高生の家庭のSDGsに関する意識調査

子どものSDGs認知度は95% きっかけは学校の授業

保護者の9割超「子どもに関心をもってほしい」

株式会社栄光（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：下田勝昭）が運営する進学塾・栄光ゼミナールは、2022年9月17日（土）～10月1日（土）に、「小中高生の家庭のSDGs（Sustainable Development Goals、持続可能な開発目標）に関する意識調査」を実施し、中学1年生～高校3年生の子どもを持つ保護者273人の有効回答が得られました。

- 保護者の多くがSDGsを「持続可能でより良い世界を目指す国際目標」と認識
- 保護者の8割以上がSDGsに「関心あり」特に「気候変動」や「質の高い教育」への関心が高い
- 子どものSDGs認知度は95%で前年から10ポイント以上アップ、学校のSDGs授業も約20ポイント上昇
- 夏休みの宿題で、SDGsに関連するものが出された家庭も
- 「SDGsに関する入試問題」に対する保護者の関心度は高い傾向
- 子どもに「SDGsに関心をもってほしい」保護者は9割超、理由は「世界規模の課題について理解をしてほしいから」

栄光ゼミナール調べ

<調査概要>

調査対象：中学1年生～高校3年生の子どもを持つ栄光モニター会員

（栄光ゼミナール・栄光の個別ビザビ・大学受験ナビオに通塾する保護者）

調査方法：インターネット調査

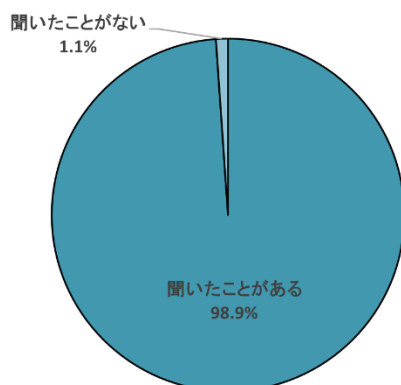
調査期間：2022年9月17日（土）～10月1日（土）

回答者数：273名

保護者自身は、「SDGs」という言葉を聞いたことがありますか。

（n=273、単一回答方式）

保護者自身は、「SDGs」という言葉を聞いたことがありますか

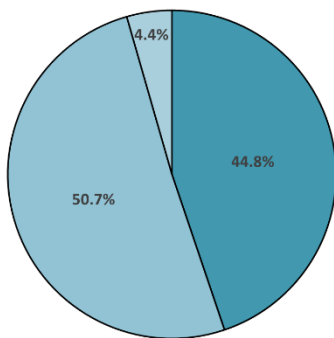


「SDGs」という言葉を聞いたことがあるかについて、小中高生の保護者に尋ねたところ、98.9%の保護者が「聞いたことがある」と回答した。

保護者自身は、「SDGs」についてどの程度知っていますか。

(n=270、単一回答方式)

保護者自身は、「SDGs」についてどの程度知っていますか



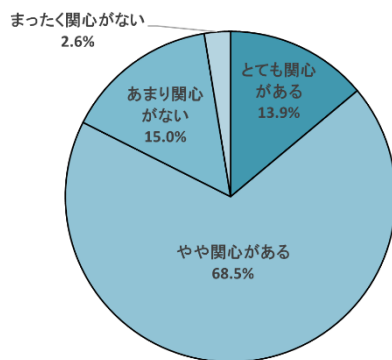
- 2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標で、世界規模の課題に対する目標が分野ごとに分けられており、内容もある程度理解している
- 詳しい内容までは知らないが、持続可能でよりよい世界を目指す国際目標であることは知っている
- SDGsという言葉聞いたことや、ロゴを見たことはあるが、詳しい内容までは知らない

「SDGs」という言葉を聞いたことがあると回答した保護者に、「SDGs」についてどの程度知っているかを聞いた。「詳しい内容までは知らないが、持続可能でよりよい世界を目指す国際目標であることは知っている」と回答した保護者が 50.7%と最も多く、また、「2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標で、世界規模の課題に対する目標が分野ごとに分けられており、内容もある程度理解している」と回答した保護者も 44.8%にのぼった。

保護者自身は、「SDGs」についてどの程度関心がありますか。

(n=273、単一回答方式)

保護者自身は、「SDGs」についてどの程度関心がありますか

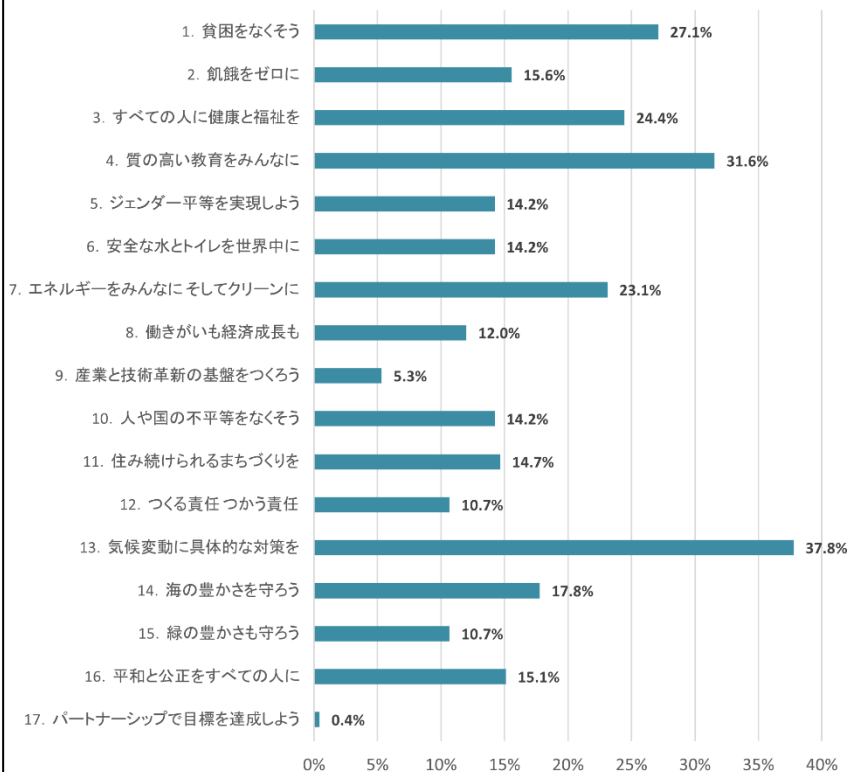


保護者に、自身は「SDGs」についてどの程度関心があるかを聞いたところ、「とても関心がある」が 13.9%、「やや関心がある」が 68.5%と、8割以上の保護者が SDGs に関心があることが明らかとなった。

SDGs の 17 のゴールの中で、保護者自身の関心が特に高いものはどれですか。

(n=225、総回答数 650、複数回答方式 (最大 3つ))

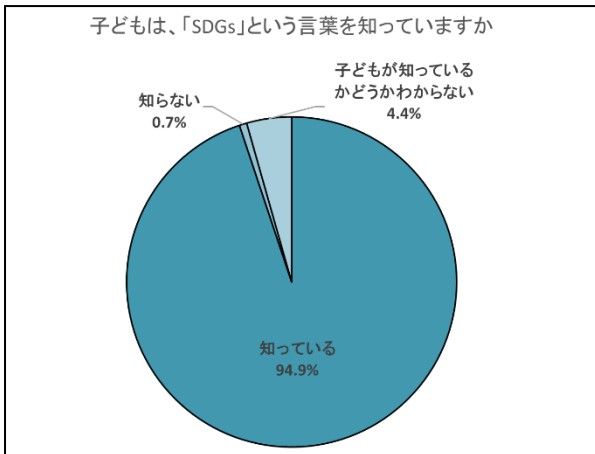
「SDGs」で掲げられている17のゴールの中で、保護者自身が特に関心の高いものはどれですか(最大3つ)



「SDGs」について「とても関心がある」「やや関心がある」と回答した保護者に、「SDGs」で掲げられている 17 のゴールのうち、特に関心が高いものを聞いた。最も保護者の関心が高いゴールは「13. 気候変動に具体的な対策を」で、37.8%にのぼった。また、「4. 質の高い教育をみんなに」も 3割以上の保護者が関心を持っていることがわかった。

子どもは、「SDGs」という言葉を知っていますか。

(n=273、単一回答方式)

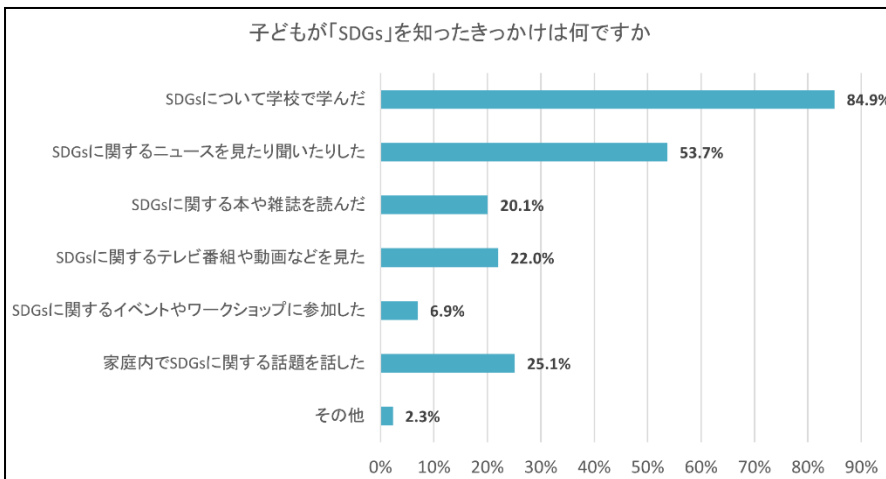


保護者に、自身の子どもが「SDGs」という言葉を知っているかを聞いたところ、94.9%の保護者が「知っている」と回答した。保護者自身だけでなく、子どもにも「SDGs」という言葉が浸透していることが明らかとなった。

2021年の調査では、「知っている」と回答した保護者は83.2%で、前年調査よりも10ポイント以上上昇していた。

子どもが「SDGs」を知ったきっかけは何ですか。

(n=259、総回答数 557、複数回答方式 (あてはまるものすべて))

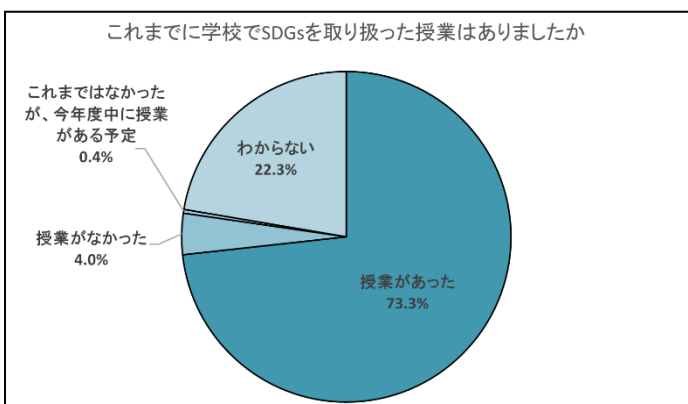


子どもが「SDGs」という言葉を知っている」と回答した保護者に、そのきっかけを聞いた。

最も多かったのは「SDGsについて学校で学んだ」で、前年調査73.6%から10ポイント以上上昇し、84.9%にのびた。また、「SDGsに関するニュースを見たり聞いたりした」ことがきっかけになった小中高生も半数以上であることが分かった。

これまでに学校でSDGsを取り扱った授業はありましたか。

(n=273、単一回答方式)

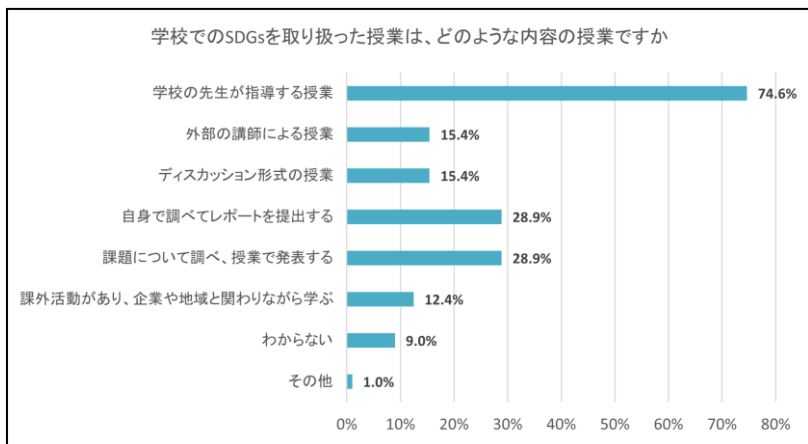


子どもが通っている学校で、これまでにSDGsを取り扱った授業があったかを聞いたところ、「授業があった」と回答した保護者は73.3%だった。前年調査では54.8%と、約20ポイントも増加していることが明らかとなった。

小学校では2020年度から、中学校では2021年度から、高校では2022年度からそれぞれ実施されている新学習指導要領では、「持続可能な社会の創り手の育成」が明記されており、教科書でも取り上げられるなど、学校においてSDGsの授業や取り組みの機会が増えていると考えられる。

学校での SDGs を取り扱った授業は、どのような内容の授業ですか。

(n = 201、総回答数 373、複数回答方式 (あてはまるものすべて))

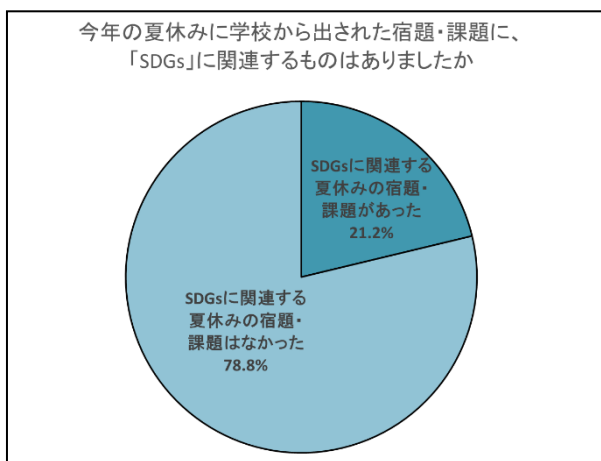


これまでに、「学校で SDGs を取り扱った授業があった」もしくは「今年度中に授業がある予定」と回答した保護者に、その授業の内容を聞いた。

最も多かったのは、「学校の先生が指導する授業」で、74.6%だった。また、「自身で調べてレポートを提出する」形式や「課題について調べ、授業で発表する」形式の授業も 3 割弱が経験していることがわかった。

今年の夏休みに学校から出された宿題・課題に、「SDGs」に関連するものはありましたか。

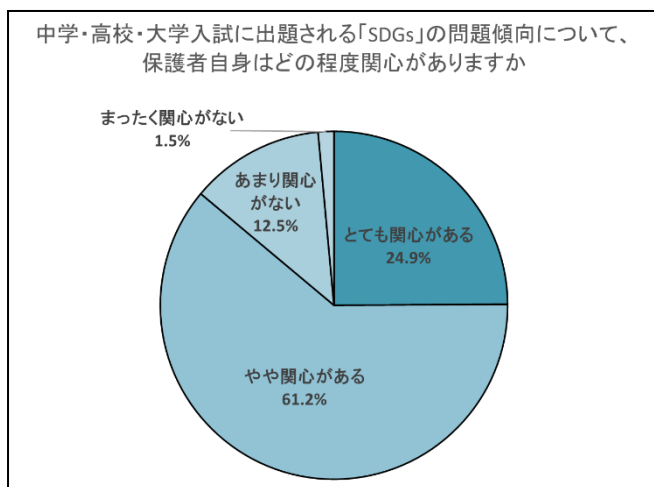
(n = 273、単一回答方式)



今年の夏休みの宿題・課題で、「SDGs」に関連するものがあつたかを聞いたところ、21.2%の保護者が「SDGs に関する夏休みの宿題・課題があつた」と回答した。具体的な内容としては、自由研究や調べ学習が多く、そのほか、啓発ポスターや標語の作成、課題作文や読書感想文など、SDGs に関する宿題・課題は様々な種類が出されていたようだ。

中学・高校・大学入試に出題される「SDGs」の問題傾向について、保護者自身はどの程度関心がありますか。

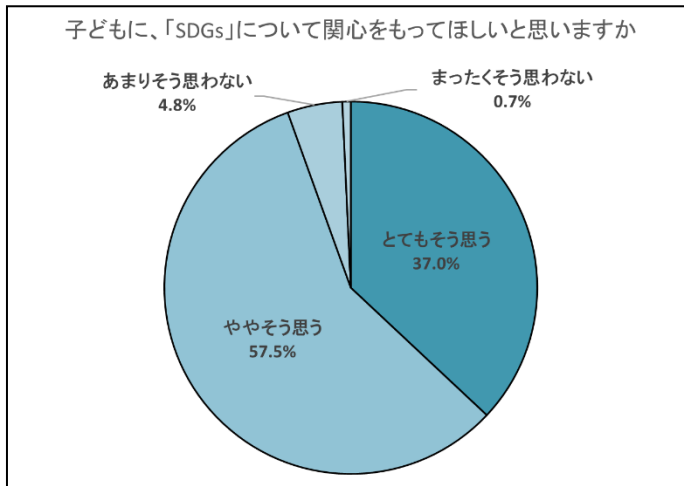
(n = 273、単一回答方式)



学校の授業だけでなく、中学・高校・大学入試でも、近年、「SDGs」を扱った問題が出題されている。入試での問題傾向について、保護者自身がどの程度関心があるかを聞いたところ、「とても関心がある」24.9、「やや関心がある」は 61.2%と、関心がある保護者は約 85%にのぼることがわかった。

子どもに、「SDGs」について関心をもってほしいと思いますか。

(n=273、単一回答方式)

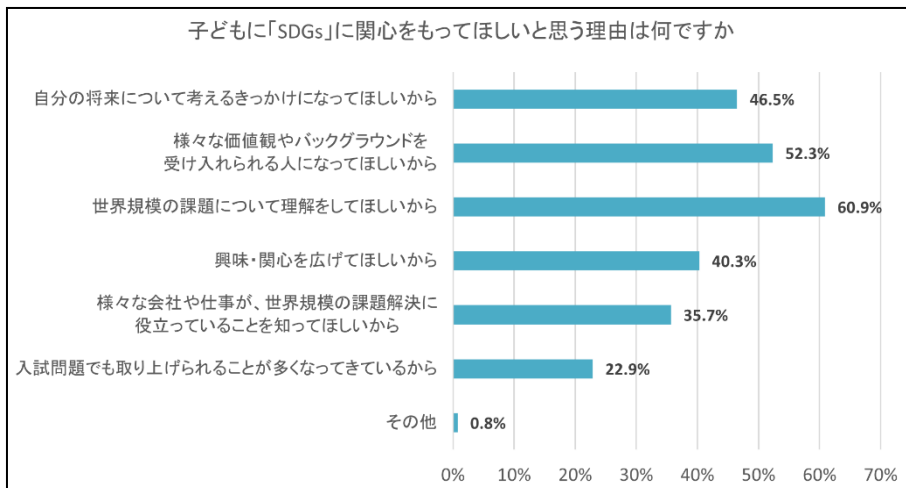


保護者に、自身の子どもに対して「SDGs」に関心をもってほしいと思うかを聞いたところ、「とてもそう思う」が37.0%、「ややそう思う」が57.5%だった。

保護者自身の関心度よりも「子どもにSDGsに関心をもってほしい」と考えている保護者が多いことが明らかとなった。

子どもに「SDGs」に関心をもってほしいと思う理由は何ですか。

(n=258、総回答数 669、複数回答方式 (あてはまるものすべて))



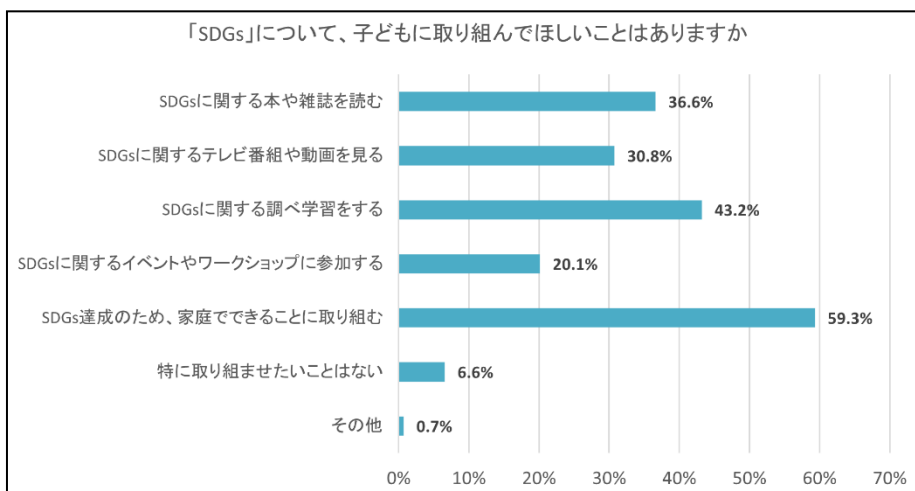
子どもに「SDGs」に関心をもってほしい」と回答した保護者に、その理由を聞いた。

最も多かったのは、「世界規模の課題について理解をしてほしいから」で、60.9%だった。

そのほかにも、「様々な価値観やバックグラウンドを受け入れられる人になってほしいから」という理由も半数以上にのぼった。

「SDGs」について、子どもに取り組んでほしいことはありますか。

(n=273、総回答数 539、複数回答方式 (あてはまるものすべて))



「SDGs」について、子どもに取り組んでほしいことがあるかを聞いたところ、「SDGs 達成のため、家庭でできることに取り組む」と回答した保護者が最も多く、59.3%だった。

身近に取り組めることを、子どもと保護者が一緒に行うことで、SDGs 達成に貢献していきたいと考える保護者が多いようだ。

SDGs に関して、家庭で子どもと一緒に取り組んでいることがあれば教えてください。

(自由記述回答)

- ・学校で習ってとても興味を持っていたので、ペットボトルの再生や節電、電気自動車について家族で話したり、本を読んだりした。(小5 保護者)
- ・夏休みの自由研究で、SDGs カルタを作ったが、家族で考える機会になった。節水・節電などできることから意識させている。(小5 保護者)
- ・保護者がボランティア活動をしているので、貧困家庭や差別など、家庭内で常に話題にしている。ジェンダーレスな友人に囲まれているため子どももよく理解している。(小6 保護者)
- ・SDGs について学校のスピーチコンテストで登壇することになり、身近な例として「質の高い教育」について学んだ。知識を入れるだけでなく、自分の考えを発表することができた。(小6 保護者)
- ・学校で、グループで調べ学習をして発表をしたことがあり、その時のテーマがフードロスについてだった。それから、食べ残しをしないということを家庭でも繰り返し話しています。(中3 保護者)
- ・一緒に買い物に行った時に、賞味期限が短いものから購入する等、食品ロスを意識した買い物をしている。(高1 保護者)
- ・世界で何が起きているかを知ること自体が SDGs につながると考えているので、様々なニュースに触れて会話するようにしている。(高2 保護者)
- ・SDGs を過剰に意識していると感じることも多々あるが、それも含めて会話をして、どう生活すべきか価値観を身につけてほしいと思っている。(高2 保護者)
- ・夏休みの課題に取り組む過程で家族それぞれが関心のあるテーマについて話し合ってみました。子どもの関心や考え方を知る良い機会となりました。(高3 保護者)

◆ 中学入試での SDGs に関する出題 (栄光ゼミナール中学入試社会科責任者より)

中学入試では、SDGs に関する出題が年々増え、「気候変動」「人権」「食」「貧困」「エネルギー」など、様々なテーマが取り上げられています。知識を答えさせるだけでなく、世の中の課題に対して将来を担う子どもがどのように考えているか、意見を問う出題も目立ちます。

子どもたちは学校や塾などで SDGs について学習していて、大人が驚くほどよく理解している子どももいます。ご家庭での日常会話の中で、学んだことを子どもから聞いたり、関連する日本や世界のニュースを話したりなど、大人も子どもと一緒に SDGs について学んでみてはいかがでしょうか。多くの情報に触れ、興味を広げて考えることが入試対策にもつながります。

会社概要

中学受験、高校受験対策の進学塾「栄光ゼミナール」や個別指導で目標達成へ導く学習塾「栄光の個別ビザビ」、高校生対象の大学受験対策塾「大学受験ナビオ」等を、首都圏を中心に展開、直営塾最大数となる生徒が通塾しています。2021年7月には中学・高校・大学受験対策のオンライン進学塾「EIKOH LINKSTUDY」を開講。生徒の学ぶ意欲を引出し、自ら学ぶ姿勢を育てることで、中学受験・高校受験・大学受験の合格へ導き、生徒・保護者の期待に全力で応えていきます。

また、科学実験専門教室やロボット・プログラミング教室のSTEM教育事業も行っています。

本社： 東京都千代田区富士見二丁目11番11号

代表： 代表取締役社長 下田勝昭

設立： 1980年7月

本件に関する問い合わせ

株式会社Z会ホールディングス 広報 大久保・渡辺

電話：03-5275-1685 Fax：03-5275-1678 メールアドレス：proffice@zkai-hd.co.jp